



## 「整理収納」で心地よい暮らしを手に入れる

株式会社 永博 取締役 吉田和代



OMA

女性経営者シリーズ

私達はモノに対して所有欲が働いてしまいます。実際必要ではないのに自分の周りの人が持っているから、流行っているから、お得だから、という現象でモノを購入します。

また、まだモノが壊れていないから、高価なモノは捨てられないから、などの勝手な思い込みによりモノを捨てることができません。そのたびにモノの量は増えていきます。

多くのモノを前にして、どのようにしたら上手に暮らせるか分からなくなります。

結果、どうしても片づけをしなければならなくなります。

片づけるとなると「しまいこむ」と考えてしまい、収納する場所や収納ボックスなど収納のことを先に考えてしまいます。そして、何度片づけても片づかないという状況に陥ってしまいます。それは片づけの手順に沿ってないからです。片づけは「整理」、「収納」、「整頓」の順に行います。その中で一番基本となるのが「整理」です。整理ができていると片づけの大半ができているも同然です。

必要・不必要を区別し、モノを使いやすくするために「整理」する。使用目的別に区別し、使いやすい状態にするために「収納」する。これが「整理収納」です。

整理をすると具体的にどのような効果があるのでしょうか。

身の回りがスッキリとするだけでなく、時間的な効果・経済的な効果・精神的な効果を得ることができます。整理が滞ると起きてくる「探し物」の現象。探し物が見つからなかったら、その日1日はその事が気になりくよくよした時間を過ごすこととなります。このストレスは大きいものです。整理することで持物を把握することができます。要らないモノを買わなくなり、無駄な出費は減ります。頭の中も自動的に整理され、心のゆとりにも

なります。

いま、なぜこんなにも「整理収納」・「お片づけ」が注目されているのでしょうか。

家や部屋がキレイと人生お得になる・キレイに片づく素敵なことが舞い込んでくる、と言われるたりしています。それは、「整理収納」することで「暮らしが豊になった」、「人生が変わった」ということを実感している人が多いからです。

私自身も探し物によるストレスに悩まされていた時期があり、そんな時「整理収納」に出会いました。

実践した事は、自分の理想とするライフスタイルやどんな暮らしがしたいかを想像し、必要なモノを選び、次にモノをアイテムごとのグループに分け、収納する場所に住所をつけました。このように定位置を決めることで探し物の回数が減りました。整理収納を理論づけて考え、必要なモノに囲まれて生活することによって心が満たされ、快適になり、心地よい暮らしができるようになりました。

家づくりの中でも、本当に必要なモノを厳選することを基本と考え、お客様にとっての理想の心地よい家と一緒に考えていくことを心がけています。

モノや情報が溢れる時代だからこそ、自分にとって本当に必要なモノを選ぶことが大切です。整理収納を通して、大事なモノを選び取る力を得ることができたように思います。

### プロフィール

1980年 株式会社 永博 入社

2012年 整理収納アドバイザー1級取得

事業内容 一般住宅、リフォーム、

医療・介護施設の設計施工

<http://www.nagahiro.jp>

<http://www.nicott.biz>